

第1学年 国語科学習指導案

日 時：平成24年11月16日（金）4校時
指導者：1組 下黒沢 由美子
3組 三 浦 弘 子

1 単元名 きいてよんで むかしばなしを たのしもう
～「おはなしかばん」をおきにいりで いっぱいにしよう～

2 教材名

(1) 中核教材名 「おむすびころりん」（世界文化社）
「さるかに」（童心社）
「ちからたろう」（小学館）

(2) 補助教材名 ① 「むかしばなしがいっぱい」（光村1下）
② 日本の昔話（指導者選定）
③ 「読書日記カード」（指導者作成）
④ 「おはなしかばん」（指導者作成）

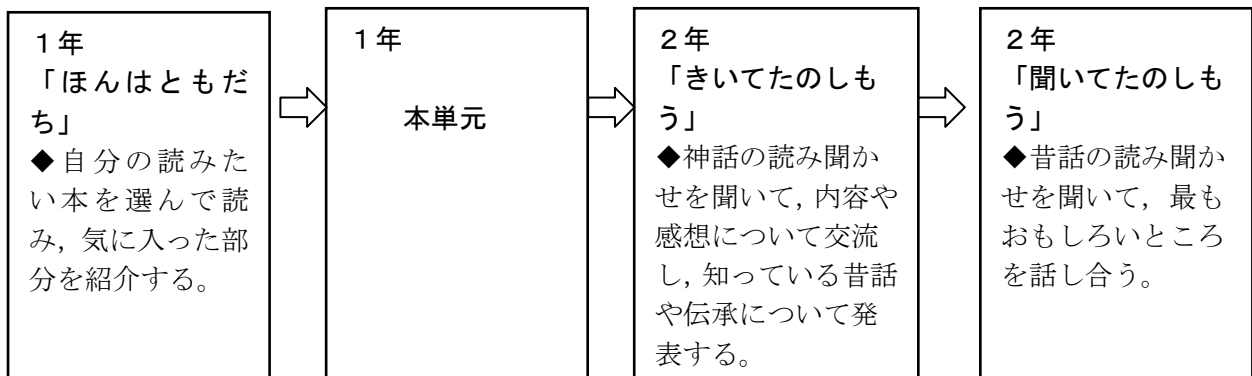
3 単元を貫いて位置付ける言語活動とその説明

単元を貫いて位置付ける言語活動（第1・2学年 言語活動例 Cイ）

昔話の読み聞かせを聞いたり昔話を読んだりして、お気に入りの昔話を選んでファイリングし、おもしろいところについて紹介すること。

- ・ 読み聞かせを聞くことによって、昔話のおもしろさを感じ取るとともに、独特の口調や言い回しに気付き、お話の世界に浸ることができる。
- ・ 「むかしばなしストリート」にある複数のランドセルの中の本や題名を見て、おもしろそうだと思う昔話を予想することができる。
- ・ 読んだ昔話について、「出てきた人やもの、おもしろいところ、おすすめど」を「どくしょにつきカード」に記録し、お気に入りのお話を入れたいり紹介したりできる「おはなしかばん」に貯めていくことによって、読書への意欲を高めることができる。
- ・ お気に入りの昔話についておもしろいところを紹介し合うことにより、読みたいという意欲や楽しいお話を運んでいるという実感をもって、読書を習慣化することにつなげることができる。

【言語活動の系統】



4 単元について

(1) 児童について

児童は、1年上「くちばし」の学習では鳥に関する平易な内容の本を読み、科学的な本の世界に触れることができた。また、1年下「くじらぐも」では、空想的なお話を多く読み、ファンタジーの世界を広げることができた。読書経験を意図的に広げ多様に積むことにより、教師や図書館ボランティアの読み聞かせを楽しみにし、読書の楽しさを味わえるようになってきている。また、多くの児童が楽しんで図書館へ通い、たくさんの本に触れている。読書傾向としては、現代の童話を好んで読んでおり、昔話については、よく知られている昔話数種類を耳にして知っている程度である。

音読に関しては、1年上「はなのみち」で、登場人物の行動から気持ちを想像して吹き出しに書く活動を行った。「おむすびころりん」では音読発表会、「おおきなかぶ」では音読劇、「くじらぐも」では役割読みと群読を経験している。これらの学習を通して、場面の様子を想像しながら音読を楽しむ児童が増えてきている。昔話のおもしろさに浸ることにより、自信をもって音読することができるようになると期待される。

紹介活動については、1年上「ほんはともだち」で、おすすめの本の好きな場面を読んで紹介する活動を楽しんできた。

(2) 教材について

中核教材「おむすびころりん」「さるかに」「ちからたろう」は、登場人物の性格付けも明快で、本文は昔話独特の語り口や擬音を使って書かれている。児童は、登場人物の行動を追いながら順序に気を付けて聞き、場面毎の様子を楽しみながら想像していくものと思われる。読み聞かせを聞いたり音読をしたりすることによって、方言がもつ温かみや昔話独特の語り口、言い回しなどにも気付くものと思われる。

補助教材①は、日本の昔話に出てくる風景や登場人物を1枚の絵に収めたものである。昔話を一つの村や町の景色の中に収めることで、読者を昔話の世界に誘い、引き込む効果があり、読書への意欲をもたせることができる。また、挿絵を見ながら、読んでみたい昔話を探することができる。できるだけたくさんの昔話の絵本を用意し、昔話のおもしろさを味わい、お気に入りの昔話を見付けることができるようにしたい。たくさんの昔話に触れることで、昔から大切にしてきたものの考え方などにも触れることができるようにしたい。

補助教材③の「どくしょにつきカード」は、1枚のカードに、登場人物や物、おもしろいところを記せるようにしたものである。昔話を読むたびにカードが増え、補助教材④の「おはなしかばん」に貯めていく。読めば読むほどカードの量が増えることで、更なる読書の意欲が喚起されるものと考えられる。また、「おはなしかばん」は、自分のお気に入りの昔話を紹介する際に用いる物でもある。「おはなしかばん」の内側に、お気に入りの昔話のおもしろい場面の絵などを貼って、音読を入れて紹介することによって、児童は友達が見付けた昔話のおもしろさを一緒に味わうことができると考える。

「どくしょにつきカード」の記入や「おはなしかばん」を使った「むかしばなしかい」によって、自分の読書を振り返ったり計画したりすることができ、読書への意欲をもたせ習慣化につなげることができる。また、「おはなしかばん」を持って友達に紹介したり他の学年にも広めたりすることにより、お話を「運ぶ」楽しさも味わうことができるであろう。

(3) 指導に当たって

本単元では、昔話の読み聞かせを聞いたり読んだりして、昔話のおもしろさを見付けて楽しみ、お気に入りの昔話の好きなところを紹介する活動を行う。

第一次では、昔話に対する読書意欲を喚起し、単元を貫く言語活動への見通しと意欲をもたせる。初めに図書ボランティアによる読み聞かせの会をもつ。目の前で語ってくれるお話に耳を傾けることにより、児童は語り手の語り口調、声の大小、速さ、間の取り方、表情などに触れて、文字の抵抗なしに作品の世界に触れることができるものと考え。次に、教科書の挿絵を見て、知っている昔話の題名を発表し合い、昔話を読みたいという意欲を喚起し、お気に入りの昔話を紹介する「むかしばなしかい」への見通しをもたせる。

第二次では、図書ボランティアによる中核教材「おむすびころりん」「さるかに」「ちからたろう」の読み聞かせを聞いて、おもしろいところを見つけて交流する。その後、「むかしばなしストリート」に設置したランドセルから、おもしろそうだと予想した本を取り出して読んでいく。その中で、「おもしろい」「気に入った」と思った本の「表紙カード」を取り出し、裏面の「どくしょにつきカード」を書いて、自分の「おはなしかばん」に貯めていく。

第三次では、まず、「おはなしかばん」に貯まった複数の「どくしょにつきカード」から、自分のお気に入りの昔話を1つ選び再読する。そのおもしろさを伝えるために紹介の内容をまとめる。次に「むかしばなしかい」で、「おはなしかばん」を使いながら友達に紹介し合う。読んだ昔話のおもしろいところを友達に紹介したり、友達の発表を聞いたりして更に読んでみたいという意欲につなげたい。最後に、「おはなしかばん」に最も気に入った昔話の絵本を入れ、ペア活動をしている2年生に紹介しに行く活動を行う。「おはなしかばん」にお気に入りの昔話を入れて、運ぶ楽しさを味わわせたい。

単元を通して特に留意したいのは、児童がいつでも昔話に触れられるような環境をつくるということである。児童が自ら本を手にとって物語の世界を楽しもうとする態度を育てるために、次のような工夫を行う。

- ① 学校図書館の利用や公共図書館及び支援団体の協力を得るなどして、教科書に掲載している昔話を出来るだけ複数冊準備し、読みたい思いにブレーキをかけないようにする。
- ② 廊下に「むかしばなしストリート」をつくり、カテゴリ毎に本を収納する。収納場所毎に「鬼の出てくるお話(例)」などと、表題を示すことによって、児童が興味をもちながら昔話を探せるようにする。収納場所として卒業生のランドセルを使用し、ランドセルを開けることで新たな昔話と出会う楽しみも味わわせたい。
- ③ 1年生教室に隣接する学習室を「むかしばなしのへや」とし、教科書に掲載されている日本の昔話に出てくる風景や登場人物の絵を掲示したり、じっくりと昔話を読むスペースを設けたりする。児童が読んでみたいお話を見付け、できるだけ多くの昔話を読むことができるようにする。

5 単元を通して育てたい読書力

A 自らの読書生活を振り返り、読書の意欲をもち続け、読書を習慣化する力

6 単元の指導目標

- 昔話の読み聞かせを聞いたり昔話を読んだりして、自分のお気に入りの昔話のおもしろいところを発表する。 (関心・意欲・態度)
- ◎ 昔話や伝承などの読み聞かせを聞いたり本や文章を読んだりして、自分のお気に入りの昔話のおもしろいところを発表することができる。 (伝統的な言語文化と国語の性質に関する事項ア(ア))
- おもしろい場面を語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読したり、「むかしばなしストリート」から興味をもった昔話を選んで読んだりすることができる。 (C読むことア・カ)

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
昔話の読み聞かせを聞いたり昔話を読んだりして、自分のお気に入りの昔話のおもしろいところを発表しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話のおもしろいところについて、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(ア) ・おもしろさを味わうために、興味のある昔話を選んでいる。(カ) 	昔話の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりしている。(ア(ア))

8 指導計画 (C 読むこと3時間 伝統的言語文化と国語の性質に関する事項3時間 学活1時間)

次	時	○目標 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価 (方法)	テキスト
	学活	<p>○読書祭りに合わせて、昔話の紹介を聞いて、日本の昔話に興味をもつ。</p> <p>・読み聞かせを聞く。</p> <p>・感想を交流する (おもしろかったところ・気に入ったところ など)</p>	<p>○学年全体で、図書ボランティアの読み聞かせを聞き、昔話独特の語り口や言い回しを味わい、昔話の楽しさを味わうことができるようにする。 「いっすんぼうし」「まのいいりょうし」「へっこきよめさま」</p> <p>○登場人物や、話の展開、言い回しなど、おもしろかったところなどを、ペアで交流した後、全体でも交流できるようにする。 ☆昔話に興味をもつことができる。(観察)</p>	<p>「いっすんぼうし」 「まのいいりょうし」 「へっこきよめさま」</p>
一	1	<p>○「むかしばなしかい」への見通しをもち、たくさん読んでいこうとする意欲をもつ。</p> <p>・前時の読み聞かせが楽しかったこと、昔話で知っているもの、知らないものなど、読みたい昔話がたくさんあること、大好きな2年生のペアに紹介したいことなどを統合し、学習課題を立てる。 【学習課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>むかしばなしをたくさんよんで、おきにいのほんを「おはなしかばん」でしようかいしよう。</p> </div> <p>・「おはなしかばん」を使った昔話の紹介の仕方を聞き、「むかしばなしかい」をする見通しをもつ。</p> <p>・「どくしょにつきカード」のモデルを見て、書き方を知る。 「どくしょにつきカード」の内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・登場人物 ・おすすめ度 ・おもしろいところ</p> </div>	<p>○教科書の挿絵の中で興味のある昔話に印を付けさせる。</p> <p>○読書意欲につながられるように、教科書の挿絵を拡大したものに、児童から出された題名を貼っていく。</p> <p>○できるだけ多くの昔話を挙げていく。知っている児童が知らない児童にどんな話を伝え、紹介活動に繋げる。</p> <p>○「おはなしかばん」の中からいくつかの「どくしょにつきカード」を取り出して、最もおもしろい昔話を選んだ後、教師自作の「おはなしかばん」を使った昔話の紹介を見て、これまでの本の紹介の方法が違うことに気付かせ、どのように紹介するのか見通しをもたせる。</p> <p>○「どくしょにつきカード」のモデルを提示して、記録の仕方や内容を理解させる。</p> <p>○「どくしょにつきカード」の内容</p> <p>○課外の時間に読んだむかしばなしを随時記録していくことを確認する。 ☆「どくしょにつきカード」の書き方がわかり、「むかしばなしかい」への見通しをもつことができる。(どくしょにつきカード・観察)</p>	<p>教科書の挿絵 (日本の昔話)</p> <p>「どくしょにつきカード (いっすんぼうし) (教師作成)</p>
二	2	<p>○「おむすびころりん」の読み聞かせを聞き、おもしろいところを見付け、「むかしばなしストリート」の本を進んで読もうとする。</p>	<p>○読書ボランティアに読み聞かせをしてもらう。</p>	

	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを聞いて、おもしろいと思ったところを選び、短冊カードに書く。 ・「おむすびころりん」のおもしろさについて話し合う。 ・みんなで音読する。 ・おもしろさを整理し、まとめる。 <p>【気付かせたいおもしろさの特徴】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの良い歌のおもしろさ ・繰り返しのおもしろさ ・昔話の終わりの言葉のおもしろさ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話を選んで読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○おもしろいところとして出された部分を図書ボランティアに読んでもらい、続けてみんなで音読する。 ☆「おむすびころりん」の最もおもしろいと思ったところを「どくしょにつきカード」に書くことができる。（「どくしょにつきカード」） ○「むかしばなしストリート」から読みたい昔話を選んで読む。自分で読めない児童は、友達と一緒に読んだり図書ボランティアに読み聞かせたりしてもらう。 	
二	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「さるかに」の読み聞かせを聞き、おもしろいところを見つけ、「むかしばなしストリートの本を進んで読もうとする。 ・読み聞かせを聞いて、おもしろいと思ったところを選び、短冊カードに書く。 ・「さるかに」のおもしろさについて話し合う。 ・みんなで音読する。 ・おもしろさを整理し、まとめる。 <p>【気付かせたいおもしろさの特徴】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が増えるおもしろさ ・歌のおもしろさ ・話の展開のおもしろさ ・昔話の終わりの言葉のおもしろさ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話を選んで読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書ボランティアに読み聞かせをしてもらう。 ○おもしろいところとして出された部分を図書ボランティアに読んでもらい、続けてみんなで音読する。 ☆「さるかに」の最もおもしろいと思ったところを「どくしょにつきカード」に書くことができる。（「どくしょにつきカード」） ○「むかしばなしストリート」から読みたい昔話を選んで読む。自分で読めない児童は、友だちと一緒に読んだり図書ボランティアに読み聞かせをしてもらったりする。 	「さるかに」
4 (一組 本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちからたろう」の読み聞かせを聞き、おもしろいところを見つけ、「むかしばなしストリート」の本を進んで読もうとする。 ・読み聞かせを聞いて、おもしろいと思ったところを選び、短冊カードに書く。 ・「ちからたろう」のおもしろさについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書ボランティアに読み聞かせをしてもらう 	「ちからたろう」

二	4	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで音読する。 ・おもしろさを整理し、まとめる。 【気付かせたい面白さの特徴】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が増えるおもしろさ ・登場人物のおもしろさ ・音の表現のおもしろさ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話を選んで読む。 	<p>○おもしろいところとして出された部分を図書ボランティアに読んでもらい、続けてみんなで音読する。</p> <p>☆「ちからたろう」の最もおもしろいと思ったところを「どくしょにつきカード」に書くことができる。（「どくしょにつきカード」）</p> <p>○「むかしばなしストリート」から読みたい昔話を選んで読む。自分で読めない児童は、友達と一緒に読んだり図書ボランティアに読み聞かせをしてもらったりする。</p>	
三	5 (三組本時)	<p>○お気に入りの昔話を選び、「しょうかいシート」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おはなしかばん」（教師作成）を使って教師が紹介をする。 ・「どくしょにつきカード」を読み返し、お気に入りの昔話と紹介するところを決め、選んだわけやおもしろい部分をワークシートに書く。 ・おもしろいところを紹介する練習をする。 	<p>○これまでに自分たちなりに捉えてきた昔話のおもしろさを踏まえ、自分のお気に入りの昔話のおもしろさを理由付けして選ばせる。</p> <p>○モデルを見せることにより、紹介の仕方を理解させ、本時の活動の見通しをもたせる。</p> <p>○貯めてきた「どくしょにつきカード」の中から、選ばせる。</p> <p>○自分なりのおもしろさで選んで良いこととする。</p> <p>○ペアでお互いの発表の仕方についてアドバイスしあう。</p> <p>☆お気に入りの昔話の紹介する内容をまとめ、発表練習をすることができたか。（ワークシート）</p>	「おはなしかばん」
	6	<p>○学級内でお気に入りの昔話を紹介する「むかしばなしかい」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に選んだお話のおもしろいところを音読してみんなに紹介する。 ・感想を交流し、おもしろかったところをみんなで音読する。 ・友だちの発表を聞いて、読みたくなった本を読む。 	<p>☆読んだお話のおもしろいところを音読で紹介している。（観察）</p> <p>○読んでみたい本の題名と理由を発表させる。</p> <p>☆友達の発表を聞いて、次に読みたい本を選び、進んで読もうとしている。（観察）</p>	
	課外	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生のペアにお気に入りの昔話の紹介をする。 	<p>○休み時間に図書館の「読書活動コーナー」にペアを招き、「おはなしかばん」を使って紹介する。</p>	

9 本時の指導【1組 4/6】

(1) 本時の目標






- ・ 読み聞かせを聞いたり読んだりして、音を表す表現や登場人物に着目し、「ちからたろう」のおもしろいところを見付けることができる。
- ・ 「むかしばなしストリート」から、興味がある昔話を選んで読むことができる。

(2) 本時の展開

段階	学 習 活 動	◎重要思考・言語操作 ○留意事項 ☆支援
導入 (二分)	<p>1 本時の学習課題をとらえる。</p> <p>【学習課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「おむすびころりん」「さるかに」とくらべて「ちからたろう」をよみ、おもしろいところを見つけよう。</p> </div> <p>2 学習の進め方を確認する。</p>	<p>○一斉読をすることで確認する。</p> <p>○学習の仕方や学習の流れに見通しをもたせる。</p> <p>○「登場人物・物」「言い回しや繰り返し」「出来事」など、これまで見付けてきた昔話のおもしろさを手がかりに、「ちからたろう」のおもしろさを見付けることを確認し、意欲をもたせる。</p>
展開 (三十分)	<p>3 「ちからたろう」の読み聞かせを聞き、おもしろいところを見付ける。</p> <p>(1) 図書ボランティアによる「ちからたろう」の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) いくつか選んでいたおもしろさの中から、最もおもしろいと思ったところを選び、短冊に書く。 (個)</p> <p>4 「ちからたろう」のおもしろさについて話し合い、整理しまとめる。 (全体)</p> <p>(1) 「ちからたろう」のおもしろさについて話し合う。</p> <p>(2) 「ちからたろう」のおもしろい表現を音読する。</p> <p>(3) 見付けたおもしろさを整理し、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ちからたろう」のおはなし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ でてくるひとやもの ちからたろう みどうたろう いしこたろう おじいさん など ・ おと、いいかた、くりかえし もぐりこもぐりこ ぐわわんぐわわん だっだかだっだか など ・ できごと ばけものをたいじし、しあわせにくらす ちからたろうがあかからうまれた など </div>	<p>○図書ボランティアが、自分のおもしろいところと思ったところを話してから、読み聞かせをすることで、「むかしばなしかい」の活動につなげるようにする。</p> <p>○独特の語り口調で昔話を聞かせることにより、昔話の世界に浸らせる。</p> <p>○話の内容が分かりやすいように、黒板に挿絵を掲示する。</p> <p>○「ちからたろう」をあらかじめ読んでおき、おもしろいところや思ったところにサイドラインを引いておくようにする。その上で、読み聞かせを聞いて、特におもしろいところを選び、短冊に書くことができるようにする。</p> <p>○書いた短冊を黒板に掲示し、おもしろさを交流し話し合うことができるようにする。</p> <p>○昔話特有の言い回しや擬態語などについては、音読を取り入れながら、おもしろさを交流できるようにする。</p> <p>○見付けた表現のおもしろさを、教師や友達の後に続いて唱和しながら楽しむことができるようにする。</p> <p>◎「登場人物・物」「言い回しや繰り返し」「出来事」など、これまでに見付けてきた昔話のおもしろさを手がかりに、1年1組が見付けた「ちからたろう」のおもしろさを、類型化していくことができるようにする。</p> <p>○児童の言葉を生かしながら、類型化していくようにする。</p>

	<p>5 「ちからたろう」のおもしろさを「どくしょにつきカード」に記入する。 (個)</p>	<p>◎「ちからたろう」の最もおもしろいところを選んで、「どくしょにつきカード」に記入する。</p> <p>評価 「ちからたろう」のおもしろさについての話し合いをもとに、自分が最もおもしろいと思ったところを「どくしょにつきカード」に書いている。 (観察・「どくしょにつきカード」) ☆ 短冊に書いた部分を微音読したり、板書や挿絵を見たりしながら、「登場人物・物」や「言い回しや繰り返し」などに着目させて、選ぶことができるようにする。</p>
<p>終末 (三分)</p>	<p>6 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <p>「ちからたろう」にもおとをあらわすことばや、でてくるひとなど、おもしろいところがたくさんある。</p>	<p>○板書を見ながら、自分たちで見付けた「ちからたろう」のおもしろさを、確認することができるようにする。</p> <p>○昔話のおもしろさを見付けることができたか振り返ることができるようにする。</p>
<p>(八分)</p>	<p>7 読んでみたい昔話を選んで読み、「どくしょにつきカード」に記入する。 (個) (オープンエンド)</p> <p>8 次時の学習内容をつかむ。</p>	<p>○「むかしばなしストリート」から興味をもった昔話を選んで読み、読み終わったら「どくしょにつきカード」に記入し、次の昔話を選んで読むことを確認する。</p> <p>○一人で読むことが難しい児童は、図書ボランティアや友達と一緒に読むようにさせる。</p> <p>○最も気に入った昔話を選び、おもしろいところの紹介をするための準備を確認する。</p>

10 板書計画

 	<p>の登場人物の挿絵</p>	<p>の登場人物の挿絵</p>	<p>の登場人物の挿絵</p>	<p>の登場人物の挿絵</p>	<p>でてくる人</p>	<p>きいてよんでむかしばなしをたのしもう 「ちからたろう」 「おむすびころりん」「さるかに」とくらべて「ちからたろう」をよみ、おもしろいところをみつけよう。</p>
 	<p>あたまたから地面に</p>	<p>右のはなから</p>		<p>あか子ども</p>	<p>できごと</p>	
		<p>ちからたろう みどうたろう はしこたろう</p>	<p>くりかえし</p>	<p>だっだか がっきん</p>	<p>もぐりこ ぎっどど</p>	

9 本時の指導【3組 5/6】

(1) 本時の目標

お気に入りの昔話を再読し、おもしろいと思ったところやそのわけを「しょうかいシート」にまとめることができる。

(2) 本時の展開

階	学 習 活 動	◎重要思考・言語操作 ○留意事項 ☆支援
導 入 (七分)	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おきにいりの むかしばなしを えらんで、しょうかいしたい ところを まとめよう。</p> </div> <p>3 紹介のモデルを見る。</p> <p>4 学習の進め方を確認する。</p>	<p>◎3つの昔話についておもしろいところを見つけたり、「昔話ストリート」からお気に入りの昔話を探して読んだりしてきたことを確認する。</p> <p>◎本時は今まで読んできた昔話の中から、お気に入りの昔話を決めることが新しい学習であることを確認する。</p> <p>◎教師がお気に入りの昔話について楽しそうに紹介している姿を見せることにより、紹介したい思いを喚起し、本時の活動に見通しをもたせる。</p>
展 開 (三十五分)	<p>5 お気に入りの昔話を選び、紹介したい内容を「しょうかいシート」に整理する。</p> <p>(1) お気に入りの昔話を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「むかしばなしストリート」に行き、紹介したい本を持ってくる。 <p>(2) 再読し、紹介したい場面が書かれているページを選んで付箋を貼る。 (個)</p> <p>(3) ペアでおもしろいと思った場面に質問し合う。 (ペア)</p> <p>(4) 質問されたことを基にして、自分がその本を選んだわけを書く。 (個)</p> <p>6 「しょうかいシート」をもとに、発表練習をする。 (個・ペア)</p> <p>7 選んだ本と「しょうかいシート」を発表する。(全体)</p>	<p>◎「おはなしかばん」から貯めてきた「どくしょにつきカード」を取り出して並べ、1つを選ぶことができるようにする。その後、「むかしばなしストリート」から、本を持ってくるようにする。</p> <p>◎2次で確認してきた「話の展開」「登場人物や物」「言葉(音、言い回し、終わり方)」等の観点の他にも自分なりのおもしろさをあげてよいこととする。</p> <p>◎なぜおもしろいと思ったかお互いに理由を尋ねるようにする。ペアでやりとりをする中で、自分の感じたおもしろさの根拠を再認識させる。</p> <p>◎紹介したい本やおもしろい場面を選びまとめることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>お気に入りの昔話や紹介したいおもしろい場面を選び、そのわけを書くことができたか。 (ワークシート)</p> <p>☆ 「どくしょにつきカード」をもとにして、おすすめ度の高いものの中から特に気に入っているものを選びさせる。また、板書を参考に理由をはっきりさせる。</p> </div> <p>◎次時につなげるために、2～3名の児童に発表させる。</p>
終 末 (三分)	<p>8 学習のまとめとをふり返しをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>むかしばなしには、くりかえしやうたやおとのおもしろいところがいっぱいある。</p> </div> <p>9 次時の学習内容をつかむ。</p>	<p>◎ 本時の頑張りを賞揚し、次時はグループに分かれて発表する「むかしばなしかい」を行うことを確認する。</p>

10 板書計画

このあと
どうなるの
ですか。

うたのリズムが
よいからです。

どうしてここが
おもしろいと
おもったりです

どんなうたや
おとでしたか。

「のっしじゃ
がんがずしん」
です。

おわりのことばが
おもしろいから
です。

〇〇がくする
おとがおもしろ
いからです。

おきにいりのむかしばなし

おきにいりのむかしばなしをえらんで、
しようかいしたいところをまとめよう。

きいてよんでむかしばなしをたのしもう

かだい